



行政視察等報告書

安来市議会副議長 様

報告者 燦友会
議員 田中 武夫

この度、行政視察を行いましたので報告します。

記

期日 平成28年8月25日 ～ 平成28年8月26日

行先 長野県下水内郡栄村、塩尻市（株式会社ライフデザイン研究所）
東京都江東区（東京ビックサイト）

日程 別紙のとおり

参加者 田中 武夫

合計1人

同行者 なし

視察内容 別紙のとおり

行政視察報告

(会派 燦友会)

<視察目的>

- ・長野県下水内郡栄村、塩尻市（株式会社ライフデザイン研究所）
バイオガス発電事業の先進国であるドイツの企業と連携し、家畜糞尿や食品残渣等の有機物をより自然に近い方法で発行させ、発生したバイオガスを利用して発電させるシステムを勉強するため。
- ・東京都江東区
近年の異常気象に対応でき得る水稻の改良品種について勉強するため。
行政において活用可能なロボットを勉強するため。

<視察概要一覧>

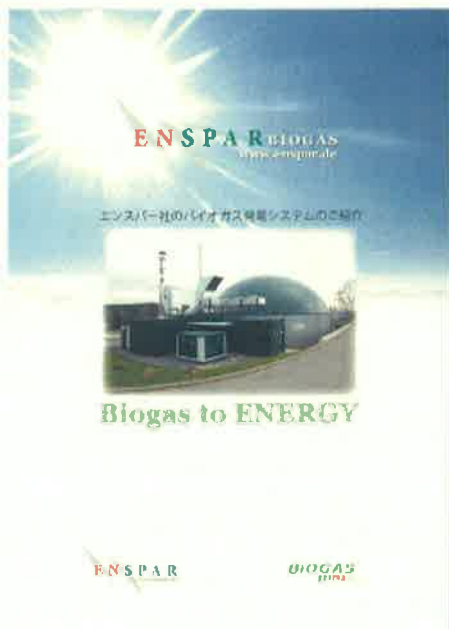
視察月日	視察先	視察施設	視察内容
平成 28 年 8 月 25 日 (木)	長野県下水内郡栄村、塩尻市		「バイオガス発電システム」について
平成 28 年 8 月 26 日 (金)	東京都江東区 (東京ビックサイト)		「地球温暖化に対応した稲の品種改良」について 「名古屋大学の歩行支援ロボット」について

<視察概要報告>

1. 長野県下水内郡栄村、塩尻市

●対応者：株式会社ライフデザイン研究所 代表取締役 山添弘規 様

●場 所：長野県下水内郡栄村、塩尻市



●概 要：

「バイオガス発電システム」について

草、を中心に有機質を有用な菌によって、発酵させガス発電をシステム化している。

国内のバイオマス発電プラントは、構造上基礎を設けるが、地震が多い我が国において注意する点でもあるので視察研修をしたエンスパー社の発電装置は、地震対策、安全対策上から、基礎を設けない独自の構造で設計を行っていた。

添付の資料に詳しい内容が掲載してある。

〈考察〉

行財政改革の一貫としては、域内資源循環を目指しており、興味を持ち、一般財源の域内資源、新たな事業者創出として、安来市で、取り入れたいと感じた。問題点としては、発酵原材料の安定供給であり、今後も調査研究を継続していきます。

なお、バイオマス発電所は是非とも安来市で起業して貰い、安来市税増や雇用の場の創成に寄与できるようにさらに今後も取り組みたい。

2. 東京都江東区（東京ビックサイト）

●講 師：農研機構食農ビジネス推進センター 小田 邦幸
名古屋工業大学大学院工学研究科教授 佐野 明人 様

●場 所：東京ビックサイト（農研機構、イノベーションジャパン 2016 資源研修）

●概 要：

「地球温暖化に対応した稲の品種改良」について

近年、とくに高温障害が多発、(白未熟粒)が多く碎けやすくなっている、これを解消するための、高温障害対策を進めており、品質、収量、食味に優れる耐性品種(にこまる)を開発、穂が出る前に茎に貯めた豊富な炭水化物を米の成長に使うことで、高温や日照不足など米が実りにくい環境でも安定して粒張りのよいお米を作れることがしめされた。

また、水稻冷害早期警戒システムについても講習をうけた。地下水位制御システム(FOEAS)の開発についても、現在安来市で導入しているので、特に興味深く受講した。

「名古屋大学の歩行支援ロボット」について

(受動歩行ロボット)の研究では、無動力、無電装、超軽量、安全、低コストの歩行介助ロボットについて、受講。

また、災害時効率的な排水作業を可能にする、移動式アドホック簡易水位計システムの開発を受講。

その他、安来市に必要と考えられる講習を探し調査した。

〈考察〉

JSTフェア 2016 については、実践することが可能な事案が多く行政に提案したい。 以上

